

事業報告書（ホームページ用）

1 学校名

私立東京シューレ葛飾中学校

2 令和7年度の活動目標

生徒自身が日々生活する中で、福祉全般について、またボランティアについて、自分自身にひきつけ、考えていけるように、学校として取り組む。

3 活動の様子

① 手話体験



手話講座に参加しての感想

・手話で話していると、「右利き？左利き？」という会話は生まれないのかな、と思いました。実際に手話をやってみると手がこんがりしました。今日学んだので、使える場面が近々来てくれたらいいなと思いました。

・初めて言語を習得する楽しさを感じられました。

・聴覚障害について種類があることを知りました。自分の名前を手話で話せるようになってよかったです。

・口の動きも大切、とあらためて知れたので、もっとたくさん学んで、会話できるようになりたいです。

講師の方の表情がすごく動いていて、手話をして声を出していないときでも、なんとなくわかりました。

② 文化祭へのご招待



【文化祭にご案内し来場された方の感想】

- ・初めて参加して、とても素晴らしいステージや展示物に感動しました。
- ・初めて不登校の子が通う学校に来ました。自分が中学生時代に体験したこととは、また違う楽しみ方、さまざまな形で楽しむ姿が見ることができ、私も楽しむことができました。
- ・卒業生のシンポジウムが良かったです。

4 活動の成果

支援事業がスタートする前から、教職員絵福祉に関して、意識づけができるように進めた上で、12月の手話体験を実施した。手話はコミュニケーションをとるのにはとてもやりやすく、日常あまり接点のない生徒同士が、自然と交流し楽しんでいた。また耳が聞こえない、ということを、講師の方のまとまったお話をお聞きすることで、理解が深まり、講座終了後も家庭で、また友人同士の会話でも何度か出てきており、非常に印相に残ってたようでよかった。